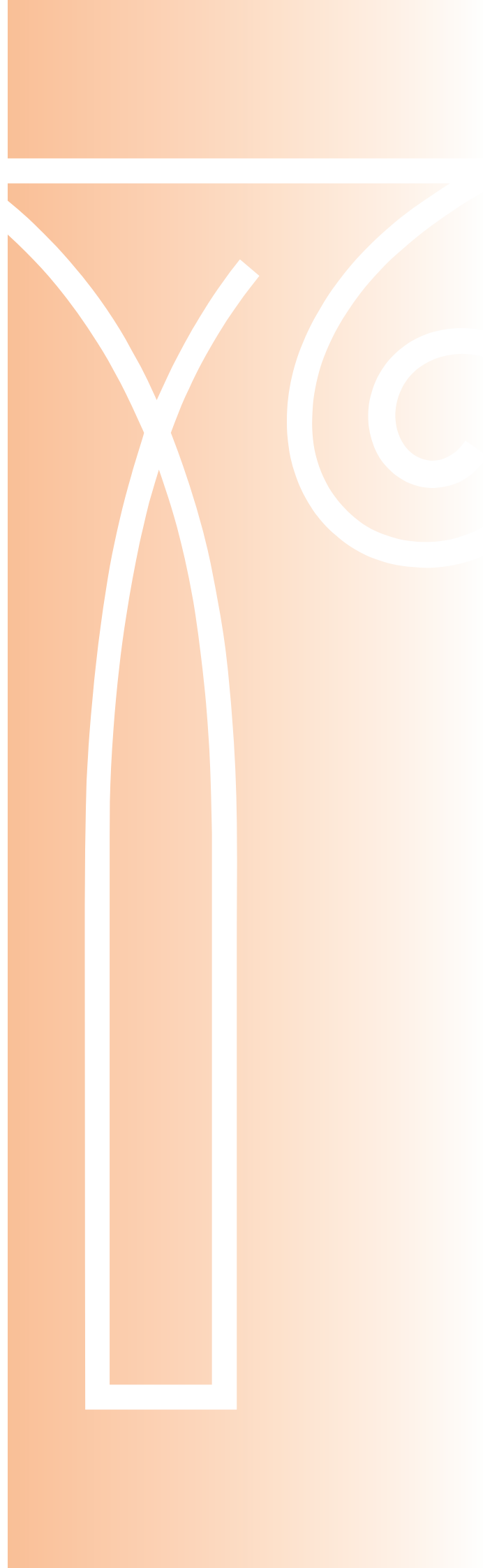


東京都庭園美術館  
年報

2016

TOKYO METROPOLITAN TEIEN ART MUSEUM  
Annual Report



## はじめに

リニューアルオープンから2年目にあたる平成28年度、東京都庭園美術館は本館と新館、庭園を効果的に美術館事業に活用すべく、多彩なプログラムを実施しました。

企画展では「メディチ家の至宝展」「こどもとファッション展」「並河靖之七宝展」を開催、当館がこれまで積極的に取り上げてきた装飾美術に関する展覧会を充実させました。国内外の美術館や所蔵者から貴重な作品をご出品いただき、本館展示室とホワイトキューブのギャラリーを巧みに組み合わせ、空間と調和させた展示構成をおこなうことにより、当館ならではのユニークな展覧会となりました。

建物公開展「アール・デコの花弁」では、旧朝香宮邸の家具調度の展示とともに修復・復原事業を取り上げ、文化財建造物のディテールに迫りました。建物公開展と同時開催した「クリスチャン・ボルタンスキー さざめく亡霊たち」では、現代を代表する作家ボルタンスキーによるインスタレーションで、邸宅空間を使った新たな展示の可能性を模索しました。このように多彩で意欲的なラインナップを組み、前年度を大きく上回る入場者を迎えることができました。

広報事業においては海外への発信を強化するため SNS の積極的活用を図り、写真やキーワードから庭園美術館の存在を広く知らせるインスタグラムを新たに開始、インバウンドや新規来館者向けの周知に努めました。また、外国人の入館者数カウントや外国人アンケートを開始し、利用実態の把握に努めました。

「ウェルカムルーム」や「あーととあそぶにわ」などの教育普及事業、「庭園美術館コンサート」「イグニションボックス」など音楽やパフォーマンスなどを前年に引き続き行い、施設を活用した来館者の幅広い芸術文化への欲求に応えました。また「まちなかコンサート」や「芝能」など、東京都歴史文化財団内の他セクションと連携し、新たな庭園活用事業の試行に積極的に取り組みました。

平成26年のリニューアルオープン、翌27年の重要文化財指定と、美術館の建物への関心や評価が高まるなか、平成28年度は改修を終えた日本庭園や茶室の公開が再開され、庭園の魅力も更に加わりました。平成29年度は、エレベーター工事や西洋庭園エリアの改修工事が着工され、リニューアル工事も終盤を迎えます。

さらにポテンシャルを高めていく施設に見合った芸術文化事業を行い、東京の魅力的な文化拠点として多くの皆様から親しまれる美術館となるよう努めていきます。

東京都庭園美術館  
館長 樋田豊次郎

## 目次

---

基本方針 .....	1
平成28年度の東京都庭園美術館 .....	2

### 各事業報告

1. 建物・庭園公開事業 .....	3
2. 企画展示事業 .....	7
3. 紀要の発行 .....	17
4. 教育普及事業等 .....	18
5. 美術品の収集 .....	27
6. 広報事業 .....	29
7. 美術館維持管理 .....	31
8. 収益事業 .....	32

### 平成28年度の実績

1. 入館者数 .....	34
2. 広報・広告件数 .....	34
3. 収益事業収入 .....	34
4. 展覧会関連事業 .....	35
5. 出版物 .....	36

### その他

展覧会実績一覧 .....	37
施設配置図 .....	42

# 基本方針

## 1. 基本方針

---

東京都庭園美術館は、歴史的建造物と美術作品、庭園とが一体となった美術館として、歴史的価値の保護と新しい価値の創造を行い、都民に芸術作品の鑑賞の機会を提供し、東京都における芸術文化の振興を図るとともに、都民生活の充実に寄与していく。

### 1. 歴史的建造物の保存

国の重要文化財である旧朝香宮邸の建物と緑豊かな庭園を適正に管理し、その価値を広く社会に伝えていく。

### 2. 建物の特性を活かした美術館活動の実施

アール・デコ様式を今に伝える歴史的建造物との調和を図った多様な展覧会や教育普及活動を実施し、東京におけるユニークな美術館として旧朝香宮邸を活用していく。

### 3. 庭園の活用

都心には珍しい豊かな自然の残る庭園を整備するとともに、アートの視点からの活用を推進し文化的環境を創出していく。

## 2. 事業方針

---

東京都庭園美術館は下記の事業方針に基づき、質の高い事業を実施していく。

1. 重要文化財旧朝香宮邸の建物公開展を実施する。

2. アール・デコの美術および同時代の芸術文化を紹介する。

3. 装飾美術における様々な分野を紹介する。

4. 東京都庭園美術館の歴史性あるいは空間的特色に基づいて、多様な芸術表現を取り上げる。

# 平成28年度の東京都庭園美術館

## 平成28年

- 4月 1日 年間パスポート発売開始  
春の夜間開館(～4月2日、4月8日～9日)
- 10日 「ガレの庭」閉幕 ※平成27年度より継続(1月16日～)
- 22日 「メディチ家の至宝 ルネサンスのジュエリーと名画」開幕(～7月5日まで)
- 26日 外部評価委員会
- 7月 1日 樋田 豊次郎館長就任
- 16日 「こどもとファッション 小さい人たちへの眼差し」開幕(～8月31日まで)
- 8月 5日 夏季特別夜間開館(～8月6日、8月12日～13日)
- 9月 4日 目黒のさんま祭り庭園無料公開
- 14日 自衛消防訓練
- 19日 敬老の日庭園無料公開
- 10月 22日 「クリスチャン・ボルタンスキー アニミタス\_さざめく亡霊たち/アール・デコの花弁  
旧朝香宮邸の室内空間[建物公開]」開幕(～12月25日まで)
- 11月 1日 都民の日庭園無料公開
- 25日 秋の夜間開館(～11月27日まで)
- 12月 5日 日本庭園の公開を再開
- 12日 第1回 運営企画委員会

## 平成29年

- 1月 14日 「並河靖之七宝展」開幕(～3月31日まで)※平成29年度へ継続(～4月10日まで)
- 25日 自衛消防訓練
- 3月 14日 第2回 運営企画委員会
- 16日 資料評価収集委員会
- 24日 春の夜間開館(～3月26日)

# 各事業報告

## 1. 建物・庭園公開事業

### (1) 建物公開展「アール・デコの花弁 旧朝香宮邸の室内空間」



※ クリスチャン・ボルタンスキー アニミタス-さざめく亡霊たちと同時開催  
期間:2016年9月22日(木・祝)-12月25日(日)[89日間]  
主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館  
年間協賛:戸田建設株式会社  
担当:浜崎加織  
来場者数:67,646人

当館所蔵の創建当時の家具・調度品やアール・デコの時代に活躍した作家の作品・資料を展示し、旧朝香宮邸の室内空間の再現を試みるとともに、室内装飾の細部に注目し、ディテールから見た建物の魅力を紹介した。また、建物の修復・復原や細部の魅力をテーマにしたトークイベントを実施し、平日に限り本館内での写真撮影を可能にした。11月には3日間の夜間開館も行った。

#### 【関連イベント】

##### a. ギャラリートーク

トーカー:浜崎加織(展覧会担当学芸員)  
開催日:2016年10月3日(月)、17日(月)、11月7日(月)、11月25日(金)  
参加人数:計105人

##### b. トークイベント

「昭和の美術タイルと旧朝香宮邸」  
講師:後藤泰男(LIXIL資料館・館長/学芸員)、加藤雅久(居住技術研究所)  
開催日:2016年11月12日(土)  
参加人数:28人

##### c. トークイベント

「ディテールのアール・デコ 旧朝香宮邸の室内空間」  
講師:後藤 武(建築家、建築史家)  
開催日:2016年12月3日(土)  
参加人数:36人

#### 【ハンドアウトの制作・発行】

内容:「素材から見た旧朝香宮邸の魅力」、出品作品リスト  
判型:A5二ツ折  
執筆・編集:浜崎加織





## (2) 旧朝香宮邸資料修復・復原

ひび割れていた若宮居間バルコニーのタイルについて、修復を行った。また、中長期的な修繕計画を策定するため、2010年度に都が行った建物の保存状態に関する現況調査を基に、リニューアル工事で未着手だった部分を中心に再調査を行った。今回修復を行った箇所は、今後の展覧会等で公開・紹介するなどしていく。

### 【修復・復刻】

修復	若宮居間バルコニーのタイル修復	1件
	殿下書斎ニス塗り直し	1件
調査	旧朝香宮邸の保存修復にかかる調査委託	1件

若宮居間バルコニータイル



(修復前)



(修復作業中)



(修復後)

殿下書斎壁面



(修復前)

ニスの塗膜が剥がれ、白濁して、全体のつやが失われていた。



(修復後)

古い塗膜を除去後に、宮内庁公文書館所蔵「朝香宮帝新築工事録」に書かれた仕様を元にセラックニスを用いて再塗装を行った。



### (3) ミュージアム・コンサート

本館の邸宅空間を活かしたクラシックのサロンコンサートを実施し、クラシックファンの方々にも広く当館を知ってもらおうきっかけとした。コンサートは定員を上回る公演も多数あり、観客からの高評価を得られた。



#### 【実施コンサート】

実施回数計：10回

参加者数計：837人

#### 第1回 戸室 玄 ピアノ・リサイタル

開催日：2016年7月10日(日)

開演：14:00(13:30開場)

会場：本館大広間

参加人数：102人

#### 第2回 藤原真理 チェロ・リサイタル

開催日：2016年7月10日(日)

開演：19:00(18:30開場)

会場：本館大広間

参加人数：95人

#### 第3回 寺田悦子 ピアノ・リサイタル

開催日：2016年9月7日(水)

開演：14:00(13:30開場)

会場：本館大広間

参加人数：60人

#### 第4回 松本 蘭 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：2016年9月7日(水)

開演：19:00(18:30開場)

会場：本館大広間

参加人数：68人

#### 第5回 外山啓介 ピアノ・リサイタル

開催日：2016年10月26日(水)

開演：14:00(13:30開場)

会場：新館ギャラリー2から本館大広間へ変更

参加人数：100人

#### 第6回 小川典子 ピアノ・リサイタル

開催日：2016年10月26日(水)

開演：19:00(18:30開場)

会場：新館ギャラリー2から本館大広間へ変更

参加人数：68人

#### 第7回 吉野直子 ハープ・リサイタル

開催日：2016年11月24日(木)

開演：14:00(13:30開場)

会場：本館大広間

参加人数：67人

#### 第8回 漆原啓子・漆原朝子 ヴァイオリンデュオ・リサイタル

開催日：2016年11月24日(木)

開演：19:00(18:30開場)

会場：本館大広間

参加人数：84人

#### 第9回 山根一仁 ヴァイオリン・リサイタル

開催日：2017年1月8日(日)

開演：14:00(13:30開場)

会場：本館大広間

参加人数：103人

#### 第10回 及川浩治 ピアノ・リサイタル

開催日：2017年1月8日(日)

開演：19:00(18:30開場)

会場：本館大広間

参加人数：90人





#### (4) 庭園公開・茶室

東京都が実施している日本庭園整備工事が完了し、西洋庭園(平成29年の工事準備で閉園)を除く庭園の公開を開始した。樹木等の管理及び芝生の育成を行い、四季の変化を感じられる庭園公開に努めた。また、都の工事への連携・協力により運営者としての館の意見を反映させ、茶室の耐震補強工事を行った。

期間：平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)(334日間)

夜間開園：展覧会夜間開館と同時開園

##### (1) 春、秋の夜間開園

平成28年 4月1日(金)、2日(土)、8日(金)、9日(土)

11月25日(金)～27日(日)

平成29年 3月24日(金)～3月26日(日)

午後8時まで。

##### (2) 夏の夜間開園

平成28年 8月5日(金)、6日(土)、12日(金)、13日(土)

午後9時まで。

庭園のみ入場者数:42,536人

茶室(平成29年1月14日より公開)入室者数:15,656人

#### 【東京都庭園改修工事への連携・協力】

工事定例会に参加し、以下の工事に連携・協力した。

東京都庭園美術館(27)茶室耐震補強工事(平成27年8月7日～平成28年11月16日)

記録映像「重要文化財茶室『光華』耐震補強の記録」(約11分)作成





## 2. 企画展示事業

### (1) ガレの庭 花々と声なきものたちの言葉



期間:2016年1月16日(土)~4月10日(日)[81日間/平成28年度中は10日間]

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団、東京都庭園美術館、東京新聞

後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、公益財団法人日仏会館、日本ガラス工芸学会

特別協力:公益財団法人北澤美術館、オルセー美術館

協力:エールフランス航空/KLM オランダ航空

年間協賛:戸田建設株式会社

担当:八巻香澄、大木香奈

来館者数:66,121人(平成28年度10日間 14,465人)

展示点数:149点

配布物:「アンリエットの手紙」日・英

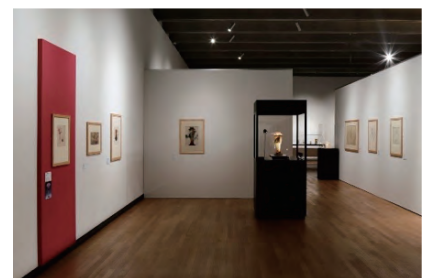
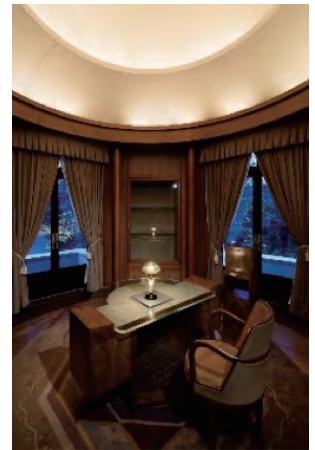
関連上映映像:北澤美術館ガラス・コレクション紹介ビデオ

「ガラスの輝きに美を求めて アール・ヌーヴォーの旗手~エミール・ガレとドーム兄弟~」

アール・ヌーヴォーの旗手として知られるエミール・ガレ(1846-1904)の作品を、彼の植物学への情熱を切り口として紹介する展覧会。また、実作と一致するデザイン画が展示されることは非常に珍しいが、本展は北澤美術館所蔵のガラス作品とオルセー美術館所蔵のガレ工房のデザイン画(19点)とをあわせて紹介する機会となった。本館(旧朝香宮邸)での展示に際しては自然光をとり入れ、展示室をガレの邸宅と庭に見立てたセノグラフィを行った。

#### 【関連イベント】

平成27年度に実施





(2) 日伊国交樹立 150 周年記念 メディチ家の至宝—ルネサンスのジュエリーと名画



期間：2016 年 4 月 22 日(金)-7 月 5 日(火) [70 日間]

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、TBS、朝日新聞社

後援：イタリア大使館

学術協力：ウフィツィ美術館(銀器博物館)

協力：アリタリア - イタリア航空、アルテリア、日本通運

協賛：野崎印刷紙業

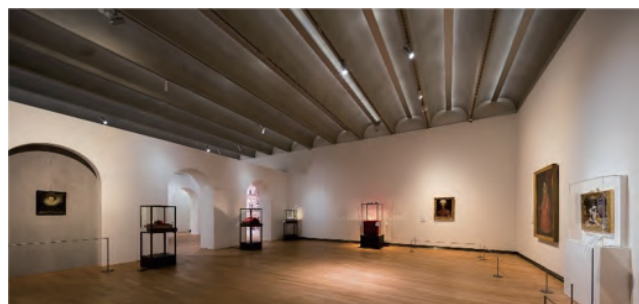
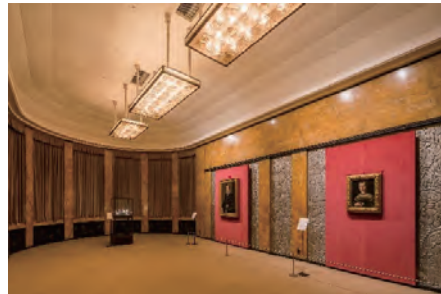
年間協賛：戸田建設株式会社

企画協力：アートプランニングレイ

担当：神保京子、浜崎加織、田中雅子

来館者数：108,970 人

ルネサンス文化発祥の地であるフィレンツェに 300 年に渡って君臨し、ルネサンス文化の強力な擁護者となったメディチ家に纏わるコレクションを一堂に集めた、日本国内初の展覧会。本展では、フィレンツェのウフィツィ美術館(銀器博物館)のコレクションを中心に、ブロンズイーノをはじめとする宮廷画家たちによる肖像画や、一族を華々しく彩った宝飾品を、歴史的年代を追って展示した。ルネサンス文化の蔭の立役者であったメディチ家の、富と権力の象徴ともいえる財宝類を、その波乱に満ちた一族興亡の歴史のうちに浮かび上がらせ、贅を尽くしたルネサンス・ジュエリーの魅力を呈示した。出品数計 73 点(絵画 19 点、ジュエリー・宝飾品 54 点)





【展覧会カタログ】

書名: 日伊国交樹立150周年記念 メディチ家の至宝—ルネサンスのジュエリーと名画

発行元: TBSテレビ

所収論文: 「フィレンツェの支配者たちの宝飾品——ロレンツォ・イル・マニフィコによるコレクション形成から大公国の  
壮麗へ」マリア・スフラメーリ(ウフィツィ美術館-銀器博物館元館長)、「メディチ家の彫玉コレクション」リッ  
カルド・ジェンナイオーリ(美術史家)、「メディチ家の美と誇り—展覧会を理解するために」石鍋真澄(成城大  
学教授)

【ハンドアウトの制作・発行】

判型・ページ数: A3 二つ折 両面印刷

内容: 「メディチ家の至宝」展 出品作品目録・メディチ家系図

編集: 神保京子・浜崎加織

【関連上映映像】

「フィレンツェとメディチ家」

制作著作: TBS、上映時間: 約5分

新館ギャラリー2において上映

【関連イベント】

a. 講演会

「メディチ家と宝石—ロレンツォ・イル・マニフィコ時代の結婚と美術」

講師: 石鍋真澄(成城大学教授、本展日本側監修)

開催日: 2016年4月23日(土)

会場: 新館ギャラリー2

参加人数: 122人

b. 講演会

「メディチ家のフィレンツェ、トスカーナの食物語」

講師: 池田愛美(ジャーナリスト、編集者)

開催日: 2016年4月24日(日)

会場: 新館ギャラリー2

参加人数: 73人

c. トークイベント

「イタリアの工房とルネサンス・ジュエリーの魅力」

講師: 長井 豊(オラフォ・貴金属宝飾工芸家)

関 昭郎(当館事業企画係長)

開催日: 2016年5月28日(土)

会場: 新館ギャラリー2

参加人数計: 150人



(3) こどもとファッション 小さい人たちへの眼差し



期間：2016年7月16日(土)～8月31日(水) [44日間]

主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

年間協賛：戸田建設株式会社

担当：八巻香澄、大木香奈

来館者数：22,669人

こども服の変遷を通して、社会において求められた「こどもらしさ」やこども観の変遷を読み解く展覧会。消耗が激しく、良い状態で保存されている資料が少ないこども服だが、本展では西洋の18世紀から20世紀初頭にかけての貴重な例と、明治以降の日本の洋装こども服を展示。その他、ファッションプレートや絵本、絵画、写真などをあわせて150点余りから、こどもの装いを見る構成とした。子育て中のファミリー層を中心に若い世代が多く来館する展覧会となり、展覧会カタログも会期終了前に完売した。

【展覧会カタログの編集・寄稿】



書名：こどもとファッション 小さい人たちへの眼差し

発行元：島根県立石見美術館・神戸ファッション美術館・東京都庭園美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会

所収論文：南目美輝(島根県立石見美術館)「こどもとファッション —小さい人たちへの眼差しをたどって」、能澤慧子(東京家政大学)「ヨーロッパの子どもの服装抄史 —子どもへの眼差しの表象として」

その他コラム：藤田真理子(人形収集家)「人形と子どものファッション」、八巻香澄(東京都庭園美術館)「ファッションプレートとポショワール」、廣田理紗(島根県立石見美術館)「日本における子どもの洋装化 —婦人服との関わりに注目して」、三友晶子(東京家政大学博物館)「子ども服と裁縫雛形」

【ハンドアウト(日・英)の制作・発行】



\*日本語版は、美術館入り口で配布した他、ウェブサイトでも公開。

[http://www.teien-art-museum.ne.jp/exhibition/handout\\_b4.pdf](http://www.teien-art-museum.ne.jp/exhibition/handout_b4.pdf)

英語版はコピー配布にて対応。

判型：B6四つ折

内容：「西洋のこどもとファッション年表」、会場案内

執筆・編集：八巻香澄 監修：能澤慧子(東京家政大学)

デザイン：のりちよデザイン室



【関連映像の編集・上映】

様々な文化における子ども観を紹介することを目的として、展覧会で紹介している西洋と日本以外の文化圏の人類学映像を、新館ギャラリー2にて上映。



使用映像:エンサイクロペディアシネマトグラフィカより

- ・ヒンバ族(南西アフリカ カオコラント)幼児と4才の少女の遊びの発展 /1985年撮影
- ・ヒンバ族(南西アフリカ カオコラント)子供の社会 / 1985年撮影
- ・マキリタレ族(ベネズエラ オリノコ川源流域)子供の遊び / 1969年撮影
- ・トロブリアンド人(パプアニューギニア トロブリアンド諸島 カイレウナ島)父親と叔父の乳児の世話 / 1984年撮影

上記4本の映像から一部抜粋して上映。

上記タイトルの民族名、地域名は撮影当時のままだが、上映時には現在の通称に修正した。

映像提供:公益財団法人下中記念財団

【ファミリーワークシートの配布】

小学生を対象として、家族で記入するワークシートを無料配布

編集・デザイン:八巻香澄

配布数:520枚



【関連イベント】

a. 講演会「子どもは愛されたのか? ヨーロッパの子ども服の歴史」

講師:能澤慧子(東京家政大学教授、本展監修者)

開催日:2016年7月23日(土)

会場:新館ギャラリー2

参加者数:125人

\*本講演会では託児サービスを有料で試行。利用者数6人

b. ギャラリーツアー「あかちゃんとおさんぽ」

武蔵野美術大学等の共同研究「乳幼児の心理的発達に関わる美術館における鑑賞プログラムの分析と開発」(科学研究費2016年度挑戦的萌芽研究)の一環として行われた。

講師:杉浦幸子(武蔵野美術大学 芸術文化学科教授)

開催日:2016年7月24日(日)

対象:生後3ヶ月~12ヶ月の赤ちゃんと保護者・定員3組

参加者数:3組

c. みんなで作るギャラリー・カンパセーション「『こども』を哲学する」

教育普及事業のページにて詳細記載

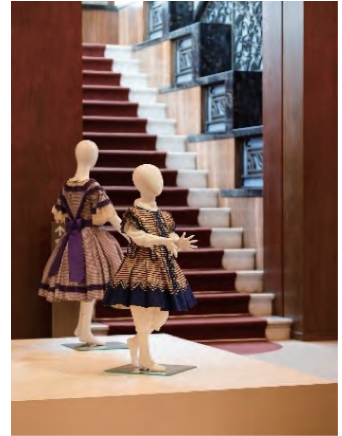


d. ギャラリートーク

会場：展示室内

1	開催日	8月5日(金)19:00~19:40
	対象者・内容	大人対象。展示室を一巡して多くの作品を紹介する回
	トーカー	八巻香澄
	参加者数	35人
2	開催日	8月12日(金)19:00~19:40
	対象者・内容	大人対象。対話をまじえながら、ゆっくりと鑑賞する回
	トーカー	八巻香澄
	参加者数	40人
3	開催日	8月19日(金)11:00~11:40
	対象者・内容	小学校の中学年・高学年対象。ヨーロッパの服飾の歴史について
	トーカー	八巻香澄
	参加者数	18人
4	開催日	8月26日(金)11:00~11:40
	対象者・内容	乳幼児連れご家族対象。こどもと一緒に展覧会を楽しむ コツや施設紹介をまじえながら、歴史の中でこども観は 変遷していくということについて。
	トーカー	八巻香澄
	参加者数	20人
5	開催日	8月26日(金)14:00~14:40
	対象者・内容	対象限定なし。インターンによるギャラリートーク
	トーカー	尾形菜月
	参加者数	30人
6	開催日	8月26日(金)15:30~16:10
	対象者・内容	対象限定なし。インターンによるギャラリートーク
	トーカー	尾形菜月
	参加者数	18人

8月19日のギャラリートークの様子



1~6参加者数計 161人



(4) クリスチャン・ボルタンスキー アニミタス\_さざめく亡霊たち



※アール・デコの花弁 旧朝香宮邸の室内空間と同時開催

期間:2016年9月22日(木・祝)-12月25日(日)[89日間]

主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、朝日新聞社

後援:在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ日本、日仏会館フランス事務所

協力:アニエスベージャパン株式会社、エールフランス航空

年間協賛:戸田建設株式会社

担当:田中雅子、関昭郎

来場者数:67,646人

フランスの現代美術家クリスチャン・ボルタンスキー(1944年-)の東京初個展。旧朝香宮邸の歴史や記憶からインスピレーションを得て<亡霊たち>がさざめく舞台をテーマに、本展のために制作された新作を含む7点を展示した。同時開催した建物公開との相乗効果やインタビュー映像の効果もあり、多くの来館者にとってボルタンスキーの作品に初めて出会う機会となった。また、来場者における若年層や外国人の割合が大きかったことも特長となった。



【展覧会カタログの企画・編集】

書名:クリスチャン・ボルタンスキー アニミタス\_さざめく亡霊たち

発行元:株式会社パイ・インターナショナル

所収論文:小林康夫(哲学者 東京大学名誉教授/青山学院大学大学院総合文化政策学研究科特任教授)「クリスチャンにささやく\_インファンスの可能な/不可能な儀礼」

関昭郎「ボルタンスキーと「死」の方便」

田中雅子「ある神話の序章「アニミタス\_さざめく亡霊たち」によせて」

その他:関口涼子「Les âmes qui murmurent さざめく亡霊たちテキスト」、「クリスチャン・ボルタンスキー インタビュー」、資料(略歴及び受賞歴、主要参考文献)

【ハンドアウトの制作・発行】

タイトル:「クリスチャン・ボルタンスキー アニミタス\_さざめく亡霊たち 展覧会ガイド」

判型・ページ数:A3 8ページ

所収テキスト:関口涼子「Les âmes qui murmurent さざめく亡霊たち テキスト」、「クリスチャン・ボルタンスキー インタビュー」、展覧会ガイド(田中雅子「作品解説」)

編集:関昭郎、田中雅子、村内みれい







【関連映像の制作】

《クリスチャン・ボルタンスキー インタビュー》24分40秒

出演：クリスチャン・ボルタンスキー

インタビュアー：田中雅子

字幕翻訳：宮田陽子

撮影：富田了平、にしのみさのぶ

編集：富田了平、東京都庭園美術館



【関連イベント】

a. 記念講演会

登壇者：クリスチャン・ボルタンスキー、逢坂恵理子(横浜美術館館長)

開催日：2016年9月22日(木・祝)

会場：日仏会館1Fホール(渋谷区恵比寿3-9-25)

参加人数：176人

b. トーク

「ARTBOOK CLUB わたしの中の亡霊」

企画：Artbook Eureka、澤隆志

第一回：「インスタレーションと鑑賞者のエモーショナルな関係」

開催日：2016年11月25日(金)

第二回：「一風変わった幼少期からアーティストボルタンスキーの誕生」

開催日：2016年11月26日(土)

会場：本館スタジオ

参加人数：25日17人、26日15人(合計32人)

c. キュレーター・トーク

トーカー：田中雅子(当館学芸員・本展キュレーター)

開催日：2016年11月4日(金)、12月9日(金)

参加人数：11月4日40人、12月9日60人(合計100人)

d. インターン・トーク

トーカー：村内みれい(平成28年度インターン)

開催日：2016年10月19日(水)、11月16日(水)、12月7日(水)

参加人数：各回30人(合計90人)



(5) 並河靖之七宝展 明治七宝の誘惑—透明な黒の感性



期間:2017年1月14日(土)–4月9日(日)[81日間/平成28年度中は72日間]  
 主催:公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都庭園美術館、毎日新聞社  
 後援:ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館、ブリティッシュ・カウンシル  
 協力:日本航空  
 協賛:岡村印刷工業  
 年間協賛:戸田建設株式会社  
 担当:大木香奈、八巻香澄  
 来館者数:50,507人(平成28年度72日間)

明治時代、輸出用美術工芸として人気を博した七宝分野で、頂点を極めた並河靖之(1845-1927)の没後90年を記念する展覧会。約80点の並河作品に同時代に活躍した七宝家たちの作品を加え、さらに制作に実際に使用された下絵等の関連資料も合わせて紹介し、合計142点の展示となった。並河の初期から晩年までの作品を一堂に会して紹介する機会はいまだかつてなく、国内外合わせても初めての並河の回顧展となった。



【関連映像の制作】

《並河靖之の有線七宝技法》11分20秒

解説・実演:吉村美子

撮影・編集:丸尾隆一、にしのまさのぶ

協力:特定非営利活動法人日本七宝会議

企画・制作:東京都庭園美術館

【展覧会カタログの企画、編集】

所収論文:樋田豊次郎(当館館長)「七宝の値打ち」

グレゴリー・アーヴィン(ヴィクトリア&アルバート博物館、シニアキュレーター)「西洋における日本七宝の受容と評価:1867-1910」

大木香奈(当館学芸員)「並河靖之の評価-作品の変遷とその成立背景」

武藤夕佳里(並河靖之七宝記念館 主任学芸員/京都造形芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター研究員)「並河七宝」の製作環境-「店」と「工場」、技法解説 「並河七宝」の表現と技法」

畑智子(京都府京都文化博物館 学芸課長)「並河ブランドを陰で支えた立役者-中原哲泉」



その他:年表、参考文献、出品目録(付作品解説)

【関連イベント】

a. 講演会

「ヴィクトリア&アルバート博物館における日本の明治七宝コレクション」

講師: グレゴリー・アーヴィン(ヴィクトリア&アルバート博物館、シニアキュレーター)

開催日: 2017年1月14日(土) 14:00-15:30

会場: 新館ギャラリー2

参加人数: 130人

b. トークイベント

「並河七宝の息をのむ美しさの秘密 —現代の視点から見る明治工芸—」

講師: 樋田豊次郎(当館館長)

大木香奈(当館学芸員・展覧会担当者)

八巻香澄(当館学芸員・展覧会副担当者)

開催日: 2017年2月18日(土) 14:00~16:00

会場: 新館ギャラリー2

参加人数: 120人

c. ワークショップ

「身につける七宝づくり—蝶のモチーフ」

講師: 近藤健一(七宝家)

開催日: 2017年2月25日(土) 午前の部: 10:30~13:00 午後の部: 14:30~17:00

参加人数: 20人

【目録の制作・発行】

判型・ページ数: A3 両面印刷

内容: 「七宝とは」、出品リスト

編集: 大木香奈 デザイン: シルシ



### 3. 紀要の発行

---

「東京都庭園美術館紀要 2016-2017」の刊行



所収原稿：トークイベント「並河七宝の息をのむ美しさの秘密—現代の視点から見る明治工芸」記録

＜登壇者＞樋田豊次郎(東京都庭園美術館 館長)

大木香奈(東京都庭園美術館 学芸員)

八巻香澄(東京都庭園美術館 学芸員)

コラム：並河靖之と「砂金石」 関 昭郎(東京都庭園美術館 事業企画係長 学芸員)

発行方法：ウェブサイトで公開



## 4. 教育普及事業等

当館では教育普及事業をラーニング・プログラム「ようこそ あなたの美術館へ」と名付け、当館の活動の柱である建  
物公開事業・展覧会事業・庭園公開事業を、より多様な人々に提供するためのプログラムを行っている。

「ようこそ あなたの美術館へ」では、次の3つを目指している。

- ①美術館体験と日常をつなげる。
- ②一人一人が美術館での自分の楽しみ方を発見する。
- ③時間や場所やテーマをシェアする中で、新しい感じ方・考え方に会う。

そのための具体的なアクションとして、開館日にはいつでも利用できる「ウェルカムルーム」に加え、「ギャラリー・カンパ  
セーション」、「あーととあそぶにわ」などの各種ワークショップなどを開催している。

### (1) ウェルカムルーム運営

来館者一人一人が能動的に美術館体験を楽しむための、ラーニング・プログラムの拠点。カンパセーション・テーブル  
「さわる小さな庭園美術館」、建築紹介の音声ガイドとしても使えるアプリのためのタブレット端末、本棚、ワークシート  
などが設置されており、展覧会鑑賞前後にのんびり過ごす空間として親しまれている他、学校団体などの受け入れや、  
ワークショップの会場としても活用。展覧会ごとに模様替えを行い、展覧会にあわせたプログラムも実施している。

利用者数：62,470人

#### 【ウェルカムルーム内の展覧会関連プログラム】

- a. ガレの庭「ダレの野菜畑？」  
(野菜モチーフのデザイン画を描くワークシート)
- b. メディチ家の至宝「メディチ大盛りお願いします」  
(ドレスや宝飾工芸を描き込むワークシート)
- c. メディチ家の至宝「なにに見える？パールのペンダント」  
(「あーととあそぶにわ」プログラムの簡易版)
- d. こどもとファッション フォトプロップ  
(展示作品を着ているような写真が撮影できるフォトプロップ)
- e. こどもとファッション 関連書籍と生地ハンズオン展示
- f. こどもとファッション「すてきなおようふく」  
(「あーととあそぶにわ」プログラムの簡易版)
- g. アール・デコの花弁「あなたのおうちを作ってください」  
(「さわる小さな庭園美術館」のコンセプトと同様に自分の家の触る地図  
を作るワークスペース設置)
- h. クリスチャン・ボルタンスキー展 作家インタビュー映像の上映
- i. 並河靖之七宝展 ミュージアムスコープ(単眼鏡)の貸出
- j. 並河靖之七宝展 ドローイングのワークシート
- k. 並河靖之七宝展「並河衰弱」(神経衰弱のようなカードゲーム)
- l. 並河靖之七宝展「並河靖之 七転び八起き」(並河靖之の生涯をモチーフにした双六)





(2) ワークショップ等

a. 「あーととあそぶにわ」

よちよち歩きさんから小学校低学年さんとその家族を対象としたプログラム

参加費無料・事前予約不要

美術館の庭園で、美術館や展覧会に興味をもってもらうための導入として、絵本の読み聞かせや簡単な制作活動などを行っている。2015年度から展覧会ごとに3回開催で定着し、リピーターも多いプログラム。

企画・運営には、東京理科大学 理工学部建築学科 伊藤香織研究室および武蔵野美術大学 芸術文化学科 杉浦幸子研究室的の学生たちに関わってもらっている。



1	2016年5月20日(金)	参加者数 129名	「メディチ家の至宝」に関連したプログラム 「なにに見える? パールのペンダント」
2	2016年5月21日(土)	参加者数 115名	
3	2016年6月5日(日)	参加者数 40名 (雨天のため室内で実施)	
4	2016年8月2日(火)	参加者数 29名 (アトレ目黒にて出張開催)	「こどもとファッション」に関連したプログラム 「すてきなおようふく」
5	2016年8月5日(金)	参加者数 73名	
6	2016年8月6日(土)	参加者数 99名	「アール・デコの花弁」「クリスチャン・ボルタンスキー」に関連したプログラム 「おばけとわたしのちず」
7	2016年10月21日(金)	参加者数 31名	
8	2016年10月22日(土)	参加者数 71名	
9	2016年11月3日(木・祝)	参加者数 241名	「並河靖之七宝展」に関連したプログラム 「ちょうちょでじゃんけん」
10	2017年3月9日(木)	参加者数 44名	
11	2017年3月12日(日)	参加者数 166名	
12	2017年3月19日(日)	参加者数 164名	
		合計 1,202名	

\*参加者数は、こどもと保護者の数の合計



b. 「五感と想像力で歩く建築ツアー」

本館建築を五感と想像力を駆使して鑑賞するプログラム

有料・事前予約制

ウェルカムルームにて「さわる小さな庭園美術館」を使って対話をし、その対話の内容にあわせて見学する部屋や体験内容が変わる。いつもは閉まっているドアを開けたり、ディナーのメニューの匂いを想像したりと身体感覚と記憶を呼び起こしながら、参加者同士で対話をし、さまざまな発見を行う。歴史や建築技法の解説ツアーとは異なる、建築体験を提案。

ファシリテーター：八巻香澄

手話の回ファシリテーター：NPO法人エイブル・アート・ジャパン

「美術と手話プロジェクト」

開催日：2016年12月14日（水）14:00～16:30 \*手話の回 参加者数13名

2016年12月14日（水）18:30～20:30 参加者数13名

2016年12月15日（木）19:00～21:00 参加者数9名



c. 「みんなで作るギャラリー・カンパセーション」

「対話」を切り口に活動しているファシリテーター等との協働として毎年実施しているプログラム

有料・事前予約制

今年度は展覧会「こどもとファッション」を出発点として、答えのない問いについてみんなで考える哲学対話「『こども』を哲学する」を行った。参加者がそれぞれ展示を見て考えた問いについて、全員で考えるというもので、「こどもらしさは誰が決めるのか?」「大人と子どもとどちらが自由か?」といったことについて話し合った。

ファシリテーター：土屋陽介（立教大学講師）、神戸和佳子（東京大学）

開催日：2016年7月29日（金）14:00-17:00 おとなの回 参加者数14名

2016年8月8日（月）14:00-17:00 こどもとおとなの回

参加者数20名





d.「ココリエイション」東山佳永「透明になるためのプラクティス」

当館の空間(本館建築・新館建築・庭園)とアーティストと参加者とのココリエイション(共創)を行うクリエイティブ・ラーニング・プログラム

有料・事前申込制

昨年度に引き続き東山佳永氏を迎え、「透明になるためのプラクティス」というタイトルで造形と身体表現と音のワークショップを行った。

今年度の事業終了後、昨年度のドキュメント映像をYouTubeにて公開開始。

<https://www.youtube.com/watch?v=LP7KgVVd6Eo>

アーティスト：東山佳永

ミュージシャン：齋藤紘良・柴山真人・三富栄治

開催日：(4回連続プログラム) 参加者数：9名

2016年9月10日(土)17:00～20:30/9月24日(土)17:00～20:30

11月5日(土)13:00～16:30/11月19日(土)15:00～20:10

\*最終日には昨年度参加者にも見学に来てもらい、合同セッションを行った。

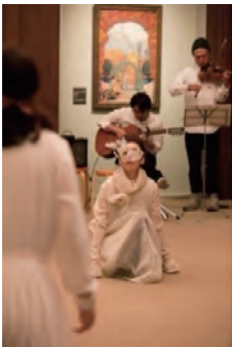


Photo: Chihaya Kaminokawa





### (3) 学校団体見学等受け入れ

1	2016年5月14日	お茶の水女子大学 博物館見学	17名
2	2016年5月27日	明治学院大学文学部芸術学科 学芸員課程履修者	14名
3	2016年7月26日	品川区立第三日野小学校 美術クラブ	12名
4	2016年7月14日	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ	35名
5	2016年7月24日	専門学校ヒコ・みづのジュエリーカレッジ	25名
6	2016年8月1日	東京都歴史教育研究会・東京都高美工研 合同研修会	18名
7	2016年8月1日	服飾美学会	18名
8	2016年8月4日	学習院女子大学 学芸員課程履修者	10名
9	2016年8月10日	「学校と文化施設をつなぐティーチャーズプログラム2016」 (公益財団法人東京都歴史文化財団連携事業)都内 小・中・高・特別支援学校の教員を対象とした研修プログラム	22名
10	2016年12月23日	視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ	20名
11	2017年1月26日	目黒区立大鳥中学校 1年生	12名



#### (4) イグニッションボックス

2014年のリニューアルを機にスタートした、ギャラリー2を中心にパフォーマンス・アーツを紹介する「TTM: IGNITION BOX」を昨年度と同じ4名のプログラム・ディレクターの企画のもと実施した。それぞれ東京都庭園美術館の歴史や空間の特性をいかしたコンセプトを立案し、多くの新作を含め東京都庭園美術館でしか見られないプログラムが実現した。当館の美術館としての可能性を広げるとともに、展覧会の来場者とは異なる層の参加も目立ち、リニューアルを経た東京都庭園美術館の新しいイメージを打ち出す重要なファクターを担っている。

#### PROGRAM\_A | Poetry Reading / Live / performance

「言葉と声、音と音楽のスタディ『偽ガルシア＝マルケス』」

ディレクション 古川日出男

2016年8月27日(土)、28日(日) 各日15:00-17:00

会場:新館 ギャラリー2

参加者数:27日 104名、28日120名(計224名)

出演

蓮沼執太(音楽家)、青柳いづみ(女優)、古川日出男(作家)



文学、朗読、演劇、音楽を横断するプログラム。古川日出男が本作のために書き下ろしたテキストを、青柳いづみの身体が体現化、蓮沼執太の鳴らす音楽がそれをコンダクトし、音と物語が溶け合う重層的な作品が誕生した。異なる世界で活躍する才能がギャラリー2という場所で出会い、ひとつの作品として昇華されていく過程自体が本プログラムの成果と言える。3名が初めてコラボレーションする企画として、事前の問い合わせやSNSでの反響から幅広い層にアピールできた感触があった。

#### PROGRAM\_B | Installation / dance / Live

ANTIBODIES Collective Installation&Performance

「惑星共鳴装置」

演出/振付/出演 東野祥子

演出/音楽/出演 カジワラトシオ

2016年10月1日(土)、2日(日)

インスタレーション 10:00-18:00

パフォーマンス ①15:00/②17:30

会場:芝庭、本館、新館

参加者人数 1日 ①207/340名 ②175/187名 2日 ①191/394名 ②200/297名

\*各時間帯(①14:00-16:00②16:00-18:00の庭園入場者数/展覧会・庭園入場者数を参照)

出演

ケンジル・ビエン、吉川千恵、矢島みなみ、JON(犬)、石橋源士、もっしゅ、加藤律、FANACO、みなみりょうへい、齋藤成美、田路紅瑠美、尾身美苗、ほか



コンテンポラリーダンス、音楽、インスタレーション(オブジェ、プロジェクションマッピング)を横断する活動を行うカンパニーantibodiesによる公演を庭園の芝庭を中心に行った。イグニションボックスとして初めてギャラリー2だけでなく建物内外を大きく横断する企画が実現したことで、参加者数や空間の可能性が一気に広がった。また海外のパブリックな美術館のように、来館者が思いがけず新しい表現に出会える場を創出できたことも本プログラムの大きな成果といえる。



PROGRAM\_C | Live / streaming

DOMMUNE「EXTREAM QUIET VILLAGE」

ディレクション& Live Streaming 宇川直宏 / DOMMUNE

2017年1月21日(土)13:00-18:00

会場:新館ギャラリー2

参加者数:122名

出演

館屋法水(ものおと)

時計奏=花代+Matan Zamir+伊達伯欣+小野洋希(バイオリン、ラジオ、声)

ハチスノイト(声帯)

藤田陽介(自作パイプオルガン、水、声)

Phew(モジュラーシンセ、声)

松本 一哉(音具、造形物、非楽器)



インターネットストリーミング放送局DOMMUNEを主宰する宇川直宏氏をディレクターとして迎え、ライブプログラムを開催した。当日は来場者以外に、インターネット配信によって約1万人のビューワー数を記録した。いずれも実力のあるアーティストが一堂に会する貴重な機会となったほか、インターネットによってより広くアクセスを可能にしたという意味で、今日的なプログラムとなった。





PROGRAM\_D | Installation / Screening / Live

新作インスタレーション+Live

ディレクション 樋口泰人(boid) 協力 boid

2017年3月10日(金)、11日(土)

会場:新館ギャラリー2

3月10日(金)

10:00 - 15:00 インスタレーション「ENDLESS CINEMA」

16:00 - 17:10 映画上映

「On Generation and Corruption」(26分)

「Picture From Darkness」(37分)

\*上演前に牧野貴による挨拶あり

17:30 - 受付開始

18:00 - 20:00 牧野貴 ライブ \*要事前予約

参加者数:映画上映50名、ライブ51名

3月11日(土)

10:00 - 15:00 インスタレーション「ENDLESS CINEMA」

16:00 - 17:10 映画上映

「On Generation and Corruption」(26分)

「Picture From Darkness」(37分)

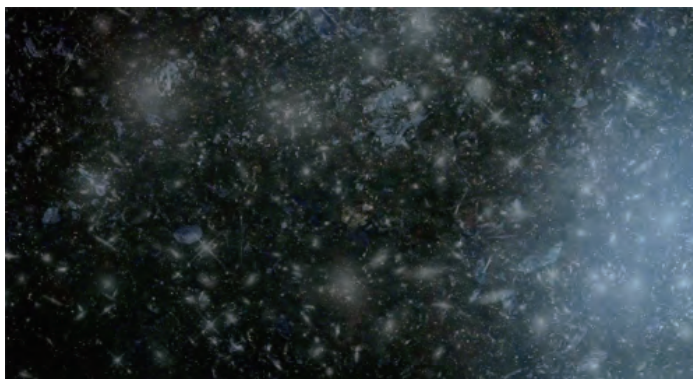
\*上演前に牧野貴による挨拶あり

17:30- 受付開始

18:00 - 20:00 ジム・オルーク ライブ \*要事前予約

参加者数:映画上映80名、ライブ112名

気鋭の実験映画作家、牧野貴の作品で構成したプログラム。海外の映画祭などで評価の高い作家だが、国内でこの規模での開催は初。映画、映像、音楽の境界をまたいで活動する牧野の表現の全貌を見せるために、2日とも映像インスタレーション、短編映画上映、インスタレーションに使用した映像にその場で音をつけるライブの3部構成で行った。美術館関係者や、大使館関係者が多く来場し、作家への期待や評価の高さがうかがえた。





### (5) まちなかコンサート

「まちなかコンサート」は、東京音楽コンクールの入賞者を中心とした若手演奏家が出演し、芸術や音楽に親しみがもてる環境作りを目指した、都内の地域密着型コンサート(参加無料)。この「まちなかコンサート」(主催:東京文化会館・アーツカウンシル東京)について、東京都庭園美術館は共催事業として、本館テラスを提供し、来園したお客様にご鑑賞いただいた。

日時 平成28年4月29日(金・祝)  
 第1回 13:00~13:30  
 第2回 15:00~15:30  
 場所 東京都庭園美術館 本館テラス(芝庭)  
 演奏者 【木管五重奏】  
 フルート:押部 朋子  
 (第7回東京音楽コンクール  
 木管部門第2位)  
 オーボエ:居石 和代  
 クラリネット:森島 菊乃  
 ファゴット:磯崎 早苗  
 ホルン:嗟峨 郁恵



参加者数 第1回:240人、第2回:270人

### (6) 芝能

外国人旅行者等が日本の伝統文化・芸能を分りやすく理解できるよう、体験と鑑賞を組み合わせた能楽の公演をアーツカウンシル東京で行った。東京都庭園美術館はこの公演の場所として庭園の芝庭を提供し、共催事業として実施した。

3月24日(金)17:30体験プログラム

19:00開演

20:30終演

出演 香川靖嗣、宝生欣也、野村萬斎、他

演目 能「八島」、居囃子「田村」

入場者数 269人

3月25日(土)12:30体験プログラム

14:00開演

15:00終演

出演 友枝昭世、友枝雄人、大日方寛、他

演目 能「鞍馬天狗」、仕舞「小塩」

入場者数 270人





## 5. 美術品の収集

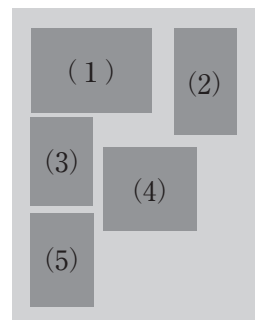
アール・デコ期の書籍1点及びドレス1点の計2点を購入した。また、作品3件の寄贈を受けた。購入・及び寄贈を受けた美術品は、今後の展覧会での活用を行っていく。

### 【購入作品】

- (1) タイトル：書籍『モグレブの羊』  
制作者：リュシアン＝グロー作、フランソワ・ルイ・シュミット原画  
制作年：1942年  
素材・技法：紙、木版刷  
サイズ：34.5×28.5 cm
- (2) タイトル：デイ・ドレス  
制作者：ポール・ポワレ  
制作年：1910年代  
素材・技法：ピンク色の絹サテンにイスラム風の花柄模様をチェーンステッチ刺繍。

### 【寄贈作品】

- (3) タイトル：筥  
制作者：飯野一郎  
制作年：2016年  
素材・技法：銅、銀、ステンレススチール、金銷、金箔  
サイズ：w.95～120×d.46～62×h.113～125 mm
- (4) タイトル：蒼い刻・光満ちる〔漆〕  
制作者：三田村有純  
制作年：2004年  
素材・技法：木材(シナ合板材、トチ材、タモ材)漆(青漆、黒漆、蒔絵)  
サイズ：h.54 cm、66×40 cm
- (5) タイトル：コマイヌⅦ  
制作者：オットー・クンツリ  
制作年：2015年  
技法・素材：真鍮、金メッキ、初音ミクの髪  
サイズ：各5×4.9 cm  
25の連作のうち、計17点





## 6. 広報事業

昨年に引き続き、とくにSNSによる情報発信に努めた。ツイッターについては、会期が短く速報性が必要だった「こどもとファッション展」で積極的に展開した結果3,000RTを超えるツイートがあるなど、フォロワーの拡大につながり、2017年3月末時点ではフォロワー数が10万6千を超えた。また新たに2016年8月からインスタグラムの公式アカウントを開設したが、このフォロワー数も7ヶ月間で2,300を超えている。フェイスブックとあわせ、これらSNSの主たるユーザーである若者層への情報発信を今後ますます高めていく必要がある。

また今年度は広報業務の一部を外部業者に委託した。展覧会のプレスリリースのデジタル配信のほか、テレビの情報番組や情報誌をターゲットとし、展覧会だけでなく、紅葉等の季節感のある話題やカフェやショップの期間限定メニュー、グッズ等に関する情報を掲載した「NEWS LETTER」を4回配信した。「並河靖之七宝展」に関しては、とくに在日の外国人の方々に向けた広報を強化するため、FPCJ(フォーリンプレスセンター)へのリリース配信及びFCCJ(日本外国特派員協会)へのリリース配布を行った。国内で最大の英語情報誌である「Metropolis Magazine」のイベントの一環として、並河展の英語によるガイドツアーを実施し、参加者のSNS投稿を促した。また後援であるブリティッシュ・カウンシルの協力を得て、在日の著名な建築家であるマーク・ダイサム氏へのインタビューを行い、当館のWebサイトで公開した。

### 【実績】(※3月末現在)

TV・ラジオ放送件数…………… 26件

「メディチ家の至宝展」「ボルタンスキー展」「並河靖之七宝展」がNHK「日曜美術館アートシーン」で紹介されたほか、旧朝香宮邸の紹介番組がMXテレビ及びBS朝日で放映されるなど、非常に有効なものが多かった。また並河展は「NHKワールド」(国際放送)でも紹介された。

新聞掲出件数…………… 68件

すべての展覧会がいわゆる五大紙に掲載されたが、単なるインフォメーションではなく記事として掲載されたものが多かったため、展覧会の趣旨や見どころを伝えるのに有益だった。

雑誌掲出件数 …………… 269件

女性誌や情報誌を中心に堅調だった。外国人向けとしては「Japan times」「Time out Tokyo」「Metropolis」の掲載があった。

Webサイト アクセス数…………… 4,910,547件

SNS 投稿数 …………… 368回(ツイッター144/フェイスブック146/インスタグラム78)

美術館前バナー 1か所…………… 更新回数4回

目黒通りバナー 18か所 …………… 更新回数4回

### 展覧会プレスリリース発送数

メディチ家の至宝展…861 こどもとファッション展…860

ボルタンスキー/アール・デコの花弁展…861 並河靖之七宝展…849





展覧会プレスリリースデジタル転載数/配信数(朝日新聞デジタル、Yomiuri Online、BIGLOBE等)

メディチ家の至宝展…18/18 こどもとファッション展…18/18  
ボルタンスキー/アール・デコの花弁展…16/18 並河靖之七宝展…17/18

展覧会プレス内覧会参加者数

メディチ家の至宝展…52人 こどもとファッション展…31人  
ボルタンスキー/アール・デコの花弁展…67人 並河靖之七宝展…47人

「NEWS LETTER」配信数

夏号…386件 秋号…324件 冬号…313件 冬2号…335件

並河靖之七宝展在日外国人向け広報

- ・FCCJ 配布数 30社
- ・FPCJ 配信数 179機関(各国大使館を含む)
- ・「Metropolis Magazine」ガイドツアー参加者数 37人(うち13人がSNS投稿)

パンフレット「展覧会カレンダー2016～2017」(日・英)発行部数…70,000部(日)/10,000部(英)

年間パスポート「TTM PASSPORT 2016」販売価格4,000円(部数限定)





## 7.美術館維持管理

平成 28 年度は、展覧会、庭園合わせて約 30 万人の来館者を迎えたが、大きな混乱もなく来館者が安全・快適に鑑賞できるような館の体制を築いた。年に数回発生するクレーム等については、委託業者を含めた館を挙げて誠実にまたすみやかに対応するよう心がけた。

### 1) 設備点検・清掃

収蔵庫、本館・新館展示室等の適切な空調管理のための日常点検、快適な展示スペース確保のための清掃を行った。

### 2) 修繕等

- ・本館 2 階殿下書斎壁面塗装修復
- ・本館 2 階若宮居間バルコニータイルの修復
- ・日本庭園池補修
- ・その他多数

### 3) 館内連絡会等の定期開催

館内連絡会の定期開催により、館と業者のみならず、各業者間の連携・協力体制を確立し、課題検討、来館者サービスの向上に努めた。

### 4) 発券システムの改良

外国人入館者の実態を把握するため、発券システムに外国人カウント機能を加えた。

### 5) 防災訓練の実施

第1回：平成 28 年 9 月 14 日(水)実施

第2回：平成 29 年 1 月 25 日(水)実施

第2回消防訓練では本館内での火災を想定し、警備、設備に加え、受付・監視やショップ・カフェ業者など委託業者を含めた消防訓練を実施した。来館者の避難誘導をどのように行えばよいか、改善点が浮き彫りとなる、より実態に即した訓練となった。

### 6) 工事協力

東京都が実施している茶室耐震補強工事への協力・調整を行うとともに、本館エレベーター設計、レストラン設計および西洋庭園設計に対しては、館運営の立場から来館者の利用しやすい施設となるよう情報提供し、協力・調整を行った。



## 8. 収益事業

### (1) ミュージアムショップの運営

新館1階 NOIR(ノワール)及び正門横 BLANC(ブラン)の2店舗のミュージアムショップでは、来館者等にオリジナル商品、展覧会図録やグッズ、各種書籍やアート関連商品等を販売している。

それぞれの場所と来館者のニーズに合わせ、NOIR では展覧会毎のオリジナルや関連グッズを中心として販売し、BLANC では当館のオリジナルグッズのほかさまざまなギフト商品を取り扱い、またクリスマスやバレンタイン等のイベントに合わせたフェアを行うなど、2店舗の差異化を図って購買意欲を高めるよう努めた。

#### 【実績】

購入客数：64,532 人

営業日数：334 日

事業者：美術出版エデュケーショナル

店舗名 / 場所：NOIR(ノワール) / 新館1階

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間

店舗名 / 場所：BLANC(ブラン) / 正門横

営業時間：10：00～18：30

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始



クリスマスフェア



ボルタンスキー展  
オリジナルポストカード



リック特製オリジナルチョコ



## (2) カフェの運営

新館1階のカフェ Café du Palais(カフェ・ド・パレ)では、有名店と協力して当館オリジナルブレンドのコーヒーを提供したり、オリジナルスイーツを提供している。季節または展覧会毎にフレーバーを変えるなど、利用者を飽きさせない工夫をしている。また夜間開館時やクリスマス等の際には特別メニューを展開し、アルコール類やホットメニューを充実させるなど来店者のニーズにきめ細かく対応し、さらにオペレーションに支障をきたさないフードメニューを増やすなど、常に改善に努めた。

### 【実績】

利用者数：37,939人

営業日数：285日

事業者：美術出版エデュケーショナル

店舗名/場所：Café du Palais(カフェ・ド・パレ)

営業時間：10：00～18：00

定休日：毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は営業、翌日休み)、年末年始、展覧会準備期間

席数：34席(屋内22席/テラス席12席)



ボルタンスキー展  
オレンジショコラ



ビーフシチューとワイン

# 平成28年度の実績

## 1. 入館者数

事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展	ガレの庭	14,465											14,465
	メディチ家の至宝	7,686	36,421	51,155	13,708								108,970
	こどもとファッション				7,051	15,618							22,669
	クリスチャン・ポルトンスキー						4,744	18,522	21,471	22,909			67,646
	並河靖之七宝展									8,600	16,633	25,274	50,507
観覧者 合計	22,151	36,421	51,155	20,759	15,618	4,744	18,522	21,471	22,909	8,600	16,633	25,274	264,257
庭園のみ入場者	4,949	4,820	3,570	2,971	1,688	3,286	3,675	4,131	3,613	2,577	2,573	4,683	42,536

外国人入館者	企画展				109	156	107	391	316	161	69	35	112	1,456
	庭のみ				60	60	63	40	72	68	27	22	36	448

茶室公開											2,556	5,088	8,012	15,656
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	-------	-------	--------

## 2. 広報・広告件数

(単位:件)

事 項	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
マスコミ	TV・ラジオ放送件数	6	3	3	3	1	1	1	2	1	1	3	1	26
	新聞掲出件数	4	10	6	2	9	3	6	7	3	10	6	2	68
	雑誌等掲出件数	20	21	26	13	17	37	37	23	26	21	17	11	269
ホームページ	アクセス件数(PV)	460,577	665,674	648,679	380,630	322,812	306,275	381,291	388,084	338,580	297,720	345,419	374,806	4,910,547

2573

## 3. 収益事業収入

(単位:円)

管理手数料及び売上高	事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	MS管理手数料	1,203,192	1,661,251	2,444,684	1,048,342	797,831	174,309	554,540	635,946	881,216	556,500	1,029,078	1,528,445	12,515,334
	カフェ管理手数料	424,955	636,515	649,074	379,507	338,221	128,959	386,131	439,242	375,741	240,519	389,628	578,804	4,967,296
	駐車場売上高	353,000	689,500	738,000	315,000	263,500	93,500	283,500	335,000	270,500	141,500	247,500	467,500	4,198,000
	自販機管理手数料	42,399	44,175	48,119	53,317	39,480	41,591	37,665	43,239	35,374	34,486	36,816	42,154	498,815
	計	2,023,546	3,031,441	3,879,877	1,796,166	1,439,032	438,359	1,261,836	1,453,427	1,562,831	973,005	1,703,022	2,616,903	22,179,445

(参考)ミュージアムショップ売上高

(税抜)

MS売上高	事 項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開店日数	28	29	28	29	29	28	29	28	26	25	26	29	334
	売上高(円)	11,653,357	6,061,103	3,384,512	10,150,753	7,793,723	1,755,151	5,570,652	6,386,549	8,766,870	5,423,674	9,934,936	14,751,353	121,632,633
	購買客数(人)	6,629	8,829	13,418	5,589	4,730	927	3,248	4,051	4,614	2,970	5,634	3,893	64,532
	1日平均売上金額	416,191	553,831	835,161	350,026	268,749	62,684	192,091	228,091	337,187	216,947	382,113	508,667	364,170
	1人平均購買金額	1,758	1,819	1,743	1,816	1,648	1,893	1,715	1,577	1,900	1,826	1,763	3,789	1,885

\* 各展覧会ごとの特設売店の設置手数料及び購買客数も含む



(参考)カフェ売上高

(税抜)

カフェ売上高	事項	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	開店日数	18	29	28	20	29	8	29	28	24	17	26	29	285
売上高(円)	3,934,776	5,893,668	6,009,951	3,513,966	3,131,682	1,194,077	3,575,294	4,067,060	3,479,095	2,227,030	3,607,674	5,359,309	45,993,582	
飲食客数(人)	2,792	4,703	4,457	2,493	2,298	596	2,598	2,953	2,474	1,368	2,603	8,604	37,939	
1日平均売上金額	218,599	203,230	214,641	175,698	107,989	149,260	123,286	145,252	144,962	131,002	138,757	184,804	161,381	
1人平均飲食金額	1,409	1,253	1,348	1,410	1,363	2,003	1,376	1,377	1,406	1,628	1,386	623	1,212	

#### 4. 展覧会関連事業

事業名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
展覧会に伴う講演会	実施事業数	2	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	7
	延実施日数	2	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	7
	延実施回数	2	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	0	7
	延参加人数	195	150	0	125	0	176	0	0	0	130	120	0	896
展覧会ギャラリーツアー等	実施事業数		0	0	2	2	0	2	4	3	0	0	0	13
	延実施日数		0	0	2	5	0	3	5	3	0	0	0	18
	延実施回数		0	0	2	7	0	3	5	3	0	0	0	20
	延参加人数		0	0	23	181	0	80	153	126	0	0	0	563
ワークショップ等	実施事業数	0	1	1		1	1	1	2	1	0	1	1	10
	延実施日数	0	2	1		2	2	2	3	2	0	1	3	18
	延実施回数	0	2	1		2	2	2	3	3	0	1	3	19
	延参加人数	0	244	40		172	18	102	265	35	0	20	374	1,270
ミュージアム・コンサート	実施事業数		0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	5
	延実施日数		0	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	5
	延実施回数		0	0	2	0	2	2	2	0	2	0	0	10
	延参加人数		0	0	197	0	128	168	151	0	193	0	0	837
その他イベント	実施事業数	1	0	0	0	2	0	1	1	0	1	0	2	8
	延実施日数	1	0	0	0	3	0	2	2	0	1	0	4	13
	延実施回数	2	0	0	0	3	0	4	2	0	1	0	4	16
	延参加人数	510	0	0	0	253	0	1,218	32	0	122	0	702	2,837



5. 出版物

	<p>メディチ家の至宝ールネサンスのジュエリーと名画                  発行数 5,000部                  販売数 3,961部                  平成28年4月22日 発行                  編集 佐藤麻理子(TBSテレビ)                  発行 TBSテレビ                  販売価格 3,400円(税込)</p>
	<p>こどもとファッション 小さい人たちへの眼差し                  発行数 2,046部(巡回展共通制作のうち当館分)                  販売数 1,246部                  平成28年2月27日 発行                  編集 南目美輝 八巻香澄                  発行 鳥根県立石見美術館・神戸ファッション美術館・                  東京都庭園美術館・読売新聞社・美術館連絡協議会                  販売価格 2,500円(税込)</p>
	<p>クリスチャン・ボルタンスキー アニミタス_さざめく                  亡霊たち                  発行数 3,850部                  販売数 783部(館内での会期中販売数)                  平成29年1月9日 発行                  編集 東京都庭園美術館                  発行 株式会社パイ・インターナショナル                  販売価格 2,700円(税込)</p>
	<p>並河靖之七宝展 明治七宝の誘惑ー透明な黒の感性                  発行数 巡回展共通制作のため未定                  販売数 4,296部                  平成29年1月14日 発行                  編集 大木香奈                  瀧口扶美(毎日新聞社)                  発行 毎日新聞社                  販売価格 2,700円(税込)</p>
	<p>東京都庭園美術館紀要 2016-2017                  平成29年3月31日 発行                  発行数 (ホームページで公開)                  編集/発行 公益財団法人東京都歴史文化財団                  東京都庭園美術館                  販売価格 無料</p>

## その他

### 展覧会実績一覧

#### 1983 昭和58年

グッゲンハイム美術館展 1983年10月1日～12月25日(81日)

#### 1984 昭和59年

早春展 1984年2月23日～4月9日(45日)

陽春展 1984年4月14日～4月23日(10日)

コプト美術展 1984年4月28日～6月3日(35日)

'84 初夏—美とのであい 1984年6月16日～7月8日(22日)

ルオー展 1984年9月14日～11月4日(48日)

晩秋展 1984年11月17日～12月23日(35日)

#### 1985 昭和60年

日本画による初春展 1985年1月12日～2月11日(30日)

アレックス・コルヴィル展 1985年2月20日～3月21日(28日)

フランス・コルベール展 1985年4月1日～5月12日(39日)

日本の美 1985年5月19日～6月23日(31日)

アジア近代絵画の夜明け展 1985年7月20日～9月1日(44日)

庭園美術館への誘い 1985年9月12日～24日(13日)

20世紀オーストラリア美術名作展 1985年10月4日～11月6日(32日)

NEW YORK・ニューヨーク 1985年11月17日～12月22日(34日)

#### 1986 昭和61年

回想の江戸・東京展 1986年1月11日～2月23日(42日)

12人の現代彫刻家 1986年3月2日～4月16日(43日)

アントニー・クラーベ展 1986年4月27日～6月30日(61日)

黒田清輝展 1986年7月11日～8月10日(30日)

日本の子どもの本歴史展 1986年8月17日～9月23日(36日)

室町美術と戦国画壇 1986年10月5日～11月9日(34日)

庭園美術館へのいざない パートⅢ 1986年11月20日～12月21日(30日)

#### 1987 昭和62年

日本のガラス造形—昭和 1987年1月10日～3月22日(67日)

アンデスの染織と工芸 1987年4月4日～5月12日(37日)

美しき日本 1987年5月23日～6月30日(36日)

小磯良平展 1987年7月11日～8月30日(48日)

ブルデル/デュフェ 1987年9月12日～11月23日(69日)

「新東京百景」展 1987年11月29日～12月22日(23日)

#### 1988 昭和63年

回想の江戸・東京Ⅱ 1988年1月10日～2月14日(33日)

牧野虎雄・曾宮一念展 1988年2月25日～3月27日(30日)

ルネ・ラリック展 1988年4月5日～5月29日(51日)

パリ・街・人 アジェとカルティエ=ブレッソン 1988年6月4日～7月24日(48日)

西洋美術の名作展 1988年7月31日～9月4日(34日)





ヤン・トーロップ展 1988年9月20日～11月6日(45日)  
レオナルド・フジタ展 1988年11月12日～1989年2月21日(90日)

1989 昭和64年 平成元年

東京都江戸東京博物館収蔵品展 1989年3月1日～3月28日(26日)  
ヘルムート・ニュートン ポートレート 1989年4月5日～5月14日(37日)  
フンデルトワッサー展 1989年5月21日～7月11日(49日)  
藤島武二展 1989年7月19日～9月3日(47日)  
江戸美術の祝祭 1989年9月14日～10月24日(39日)  
国吉康雄展 1989年11月1日～12月24日(51日)

1990 平成2年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1990年1月11日～2月4日(24日)  
ドイツ・ロマン派の時代展 1990年2月18日～3月25日(34日)  
浜口陽三展 1990年4月3日～6月3日(58日)  
ルネ・ラリックの香水瓶展 1990年6月16日～8月5日(48日)  
古代ギリシャ美術展 1990年8月18日～9月23日(35日)  
エドワード・ホッパー展 1990年10月6日～12月16日(67日)

1991 平成3年

ルイス・C・ティファニー展 1991年1月12日～3月17日(61日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ 1991年3月24日～3月31日(7日)  
子どもの本・1920年代展 1991年4月6日～5月26日(47日)  
カッサンドル展 1991年6月2日～7月14日(40日)  
小磯良平遺作展 1991年7月20日～8月27日(37日)  
袱紗展 1991年9月14日～10月13日(28日)  
世界の名作展 1991年11月2日～12月20日(46日)

1992 平成4年

ベルリン東洋美術館名品展 1992年1月12日～2月17日(35日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ 1992年2月29日～3月24日(24日)  
バリー・モダン1910-30年代 1992年4月4日～5月24日(48日)  
ロバート・メイプルソープ展 1992年6月2日～7月2日(29日)  
日本洋画再考展 1992年7月10日～8月5日(26日)  
洋画の動乱 昭和10年 1992年8月14日～10月6日(51日)  
卓上の芸術 1992年10月17日～12月10日(51日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ 1992年12月18日～1993年1月21日(25日)

1993 平成5年

ドーム・ガラス展 1993年1月31日～3月15日(41日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ展 1993年4月3日～4月13日(11日)  
長谷川潔展 1993年4月29日～7月7日(66日)  
デ・キリコ展1920-1950 1993年7月16日～8月15日(29日)  
大正日本画の若き俊英たち 1993年8月21日～9月23日(31日)  
アール・デコ様式のセーブル磁器展 1993年10月2日～12月19日(74日)

1994 平成6年

旧朝香宮邸の建築と歴史 1994年1月15日～2月13日(38日)  
全国美術館コレクション名品展 1994年3月3日～3月31日(27日)  
旧朝香宮邸のアール・デコ展 1994年4月5日～4月17日(12日)



カール・ラーション展 1994年4月23日～5月31日(36日)  
 ヨーロッパ工芸新世紀展 1994年6月11日～7月31日(48日)

1995 平成7年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1995年3月10日～3月19日(10日)  
 フランス宝飾芸術の世界展 1995年4月8日～5月28日(47日)  
 レオナルド・ダ・ヴィンチ人体解剖図 1995年6月10日～7月30日(47日)  
 アメリカに生きた日系人画家たち 1995年8月12日～10月1日(48日)  
 スチュアート・デイヴィス展 1995年10月10日～11月26日(44日)  
 エドゥアール・サンド彫刻展 1995年12月7日～1996年2月13日(57日)

1996 平成8年

旧朝香宮邸のアール・デコ 1996年2月24日～3月24日(28日)  
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1996年4月1日～5月26日(52日)  
 林武展 1996年6月15日～7月28日(41日)  
 日本工芸の青春期1920s-1945 1996年8月10日～9月17日(36日)  
 北大路魯山人展 1996年10月5日～11月24日(48日)  
 ジョージ・チネリーと知られざる19世紀広東・マカオ・香港の美術展 1996年12月7日～1997年2月11日(55日)

1997 平成9年

イタリア・バロック絵画展 1997年2月20日～3月30日(36日)  
 アルザスとフランス近代美術の歩み 1997年4月5日～5月25日(48日)  
 パリ国立オペラ座衣裳展 1997年6月14日～8月17日(61日)  
 東南アジア—近代美術の誕生 1997年9月6日～10月12日(34日)  
 フォンタネージと日本の近代美術 1997年10月23日～12月14日(50日)  
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1997年12月21日～1998年1月27日(28日)

1998 平成10年

工芸のジャポニスム展 1998年2月7日～3月24日(43日)  
 華麗なる馬たち 1998年4月4日～5月26日(50日)  
 イタリアのガラス1930-1970 1998年6月6日～7月26日(47日)  
 ザッキン—彫刻と素描展 1998年8月8日～9月27日(47日)  
 ジョルジョ・モランディ 花と風景 1998年10月10日～11月29日(47日)  
 旧朝香宮邸のアール・デコ 1998年12月12日～1999年3月21日(86日)

1999 平成11年

名画の花束 1999年4月3日～5月30日(54日)  
 リバティ・スタイル展 1999年6月12日～7月25日(42日)  
 宮本三郎展 1999年8月7日～9月19日(41日)  
 パリ・モード1870-1960 1999年10月2日～12月19日(74日)

2000 平成12年

アール・デコと東洋 2000年1月8日～3月21日(69日)  
 デペロの未来派芸術展 2000年4月4日～5月23日(47日)  
 指輪—ちいさな記念碑の物語 2000年6月7日～8月6日(57日)  
 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2000年8月19日～10月29日(67日)  
 ルネ・ラリック1860-1945展 2000年11月11日～2001年1月31日(69日)



2001 平成13年

ロシア・アヴァンギャルド展 2001年2月10日～4月1日(47日)  
 ジョルジュ・ルース展 2001年4月7日～6月3日(54日)  
 ジノリ展 2001年6月16日～8月19日(61日)  
 安田侃—彫刻展 2001年8月25日～9月16日(22日)  
 安田侃—野外彫刻展 2001年4月12日～2002年3月17日併催  
 カラヴァッジョ 2001年9月29日～12月16日(76日)

2002 平成14年

旧朝香宮邸のアール・デコ展 2002年1月5日～3月17日(67日)  
 マジョリカ名陶展 2002年4月4日～6月23日(76日)  
 ソニア・ドローネ 2002年7月6日～9月8日(61日)  
 ピュイフォルカ展 2002年9月21日～12月1日(68日)

2003 平成15年

旧朝香宮邸のアール・デコ 2003年1月4日～4月6日(81日)  
 ヨーロッパ・ジュエリーの400年 2003年4月24日～7月1日(65日)  
 マリー・ローランサン回顧展 2003年7月19日～9月15日(55日)  
 アール・デコ様式 2003年10月1日～2004年2月1日(105日)

2004 平成16年

パリ1900 2004年2月21日～4月11日(48日)  
 シルクロードの装い 2004年4月24日～6月20日(54日)  
 幻のロシア絵本1920-30年代展 2004年7月3日～9月5日(61日)  
 エミール・ノルデ 2004年9月18日～11月7日(48日)  
 田原桂—光の彫刻 2004年11月20日～2005年1月23日(54日)

2005 平成17年

日本のジュエリー100年 2005年2月5日～4月10日(61日)  
 ジェームズ・アンソール展 2005年4月23日～6月12日(47日)  
 八木一夫展 2005年7月2日～8月21日(48日)  
 庭園植物記 2005年9月3日～11月6日(61日)  
 華麗なるマイセン磁器 2005年11月19日～2006年1月22日(55日)

2006 平成18年

宇治山哲平展 2006年2月4日～4月9日(61日)  
 北欧のスタイリッシュ・デザイン 2006年4月22日～6月18日(54日)  
 旧朝香宮邸のアール・デコ展 2006年7月8日～10月1日(80日)  
 アール・デコ・ジュエリー 2006年10月14日～2007年1月14日(80日)

2007 平成19年

アルフレッド・ウォリス 2007年2月3日～3月31日(53日)  
 大正シック 2007年4月14日～7月1日(74日)  
 舞台芸術の世界 2007年7月26日～9月17日(51日)  
 世界を魅了した ティファニー 1837-2007 2007年10月6日～12月16日(67日)  
 アール・デコの館 2007年12月23・24日/2008年1月12日～14日(5日)



2008 平成20年

建築の記憶 2008年1月26日～3月31日(63日)  
 オールドノリタケと懐かしの洋食器 2008年4月17日～6月15日(56日)  
 舟越桂 夏の邸宅 2008年7月19日～9月23日(64日)  
 アール・デコの館 2008年10月1日～10月13日(13日)  
 1930年代・東京 2008年10月25日～2009年1月12日(69日)

2009 平成21年

ポワレとフォルチュニイ 2009年1月31日～3月31日(58日)  
 エカテリーナ2世の四大ディナーセット 2009年4月16日～7月5日(76日)  
 ステッチ・バイ・ステッチ 2009年7月18日～9月27日(68日)  
 パリに咲いた古伊万里の華 2009年10月10日～12月23日(70日)

2010 平成22年

マッキアイオーリ 2010年1月16日～3月14日(54日)  
 アール・デコの館 2010年3月25日～4月11日(18日)  
 ロトチェンコ+ステパーノワ 2010年4月24日～6月20日(54日)  
 有元利夫展—天空の音楽 2010年7月3日～9月5日(61日)  
 香水瓶の世界 2010年9月18日～11月28日(67日)  
 朝香宮のグランドツアー 2010年12月11日～2011年1月16日(28日)

2011 平成23年

20世紀ポスター[タイポグラフィ] 2011年1月29日～3月27日(50日)  
 森と芸術 2011年4月16日～7月3日(74日)  
 皇帝の愛したガラス 2011年7月14日～9月25日(70日)  
 アール・デコの館 2011年10月6日～10月31日(24日)

2014 平成26年

アーキテクト／1933／Shirokane 2014年11月22日～12月25日(32日)  
 内藤礼 信の感情 2014年11月22日～12月25日(32日)

2015 平成27年

幻想絶佳：アール・デコと古典主義 2015年1月17日～4月7日(76日)  
 マスク展 2015年4月25日～6月30日(63日)  
 アール・デコの邸宅美術館 2015年7月18日～9月23日(64日)  
 オットー・クンツリ展 2015年10月10日～12月27日(73日)

2016 平成28年

ガレの庭 2016年1月16日～4月10日(81日)  
 メディチ家の至宝 2016年4月22日～7月5日(70日)  
 こどもとファッション 2016年7月16日～8月31日(44日)  
 アール・デコの花弁 2016年9月22日～12月25日(89日)  
 クリスチャン・ボルタンスキー 2016年9月22日～12月25日(89日)

2017 平成29年

並河靖之七宝展 2017年1月14日～4月9日(81日／平成28年度中は72日)



施設配置図





本館(旧朝香宮邸)



新館

